

2-④ 心に響く伝え方

■対象：小学生～中学生の親

■時間：60分程度

■手法：ロールプレイ

学習のねらい 子どもへの思いの伝え方について役割演技をしたり、話し合ったりすることを通して、場や状況に適したよりよい伝え方について考える。

準備するもの 宝カード 他己紹介用の A4 用紙 筆記用具 ワークシート【P.72】
アドバイスタイトム用配付資料

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、子どもたちの心に響く伝え方について、みなさんと考えてみたいと思います。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
15分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①宝探し (P.99) ②他己紹介 (P.99)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・②でペアの相手とのコミュニケーションを図ることで、次のワークショップへ入りやすくする。 	宝カード 筆記用具 A4用紙
30分	<p>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>①ワーク1の場面をお互いに言ってみる ②感想を話し合う ③ワーク2を記入する ④ワーク2の場面をお互いに言ってみる ⑤感想を話し合う ⑥まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけなりきってできるように、楽しく自由な雰囲気づくりを心がける。 ・状況によって言い方はかわってくるが、あくまで例として考えるよう伝える。 ・場面はあまり限定せず、自由に考えるように伝える。 ・一言で簡単にコメントする。 	ワークシート (P.72)
13分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①グループでふり返る ・グループ内での紹介 ・気をつけること ②感想をワーク3に記入する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで、心に響く伝え方について具体的に考えるよう伝える。 ・自己をふり返り、今後について考える時間をとる。 	
2分	<p>【アドバイスタイトム】</p> <p>いかがでしたか？ 親の伝え方ひとつで、子どもの受けとり方も様々です。 文部科学省発行の家庭教育手帳には、次のような記述があります。 ※資料 P.112「良いことをしたときはしっかりほめてあげる」「感情にまかせて叱ることとしつけとは違う」から状況に応じて選んで読む。</p> <p>《講座の最後にルールとマナーの確認をしましょう》</p>		配付資料

2-④ 心に響く伝え方

①ワーク1の場面をお互いに trying (5分)



ワークシートを配ります。それでは、2人組でワーク1にある台詞を親役と子ども役に分かれて相手に trying (5分) してみましょう。できるだけ雰囲気を出してなりきって try (5分) てください。
できれば、子ども役の方は、親の台詞に対して反応 try (5分) してみてください。
1人が終わったら、役割を変えて、親役・子ども役の両方を体験 try (5分) してください。

②感想を話し合う (5分)

どうでしたか？
3つの台詞を言われてどう思ったか、お互いにそれぞれの感想を伝え合 try (5分) しましょう。



○「①は攻撃的」「②はいやみ」「③は親身」な伝え方に分類できることを参加者の実態に try (5分) 応じて伝える。

③ワーク2を記入する (9分)



ワーク2の2つの場面で、あなたなら、お子さんに対してどう伝え try (5分) ますか？
考えて記入 try (5分) しましょう。
細かい背景にはこだわらずに書いて try (5分) ください。時間は7分です。

④ワーク2の場面をお互いに trying (5分)

今書いた台詞を、役割分担をして相手に trying (5分) してみましょう。ぜひ、雰囲気を出してなりきって try (5分) てください。



⑤感想を話し合う (5分)



それぞれが考えた台詞を言われてどうだったか、どう感じたか、お互いに伝え合 try (5分) しましょう。

⑥まとめ (1分)

みなさん、お子さんの感じ方を考えて、伝え方を工夫されていたことがよく分 try (5分) かりました。
それでは、今日の学習をふ try (5分) り返ってみましょう。



【活用のポイント】

このプログラムは、対象となる親（保護者）の子どもの年齢に try (5分) 応じて、ワークシートの場面設定を変更すると try (5分) よいでしょう。

ワーク1 次の場面の①～③の伝え方を実際に体験してみましょう。

友だちの家に遊びに行った子どもが、6時に帰ると約束したのに7時を過ぎてやっと帰ってきた。

【子ども】「ただいま」 その時あなたは？

【親】

- ①「こんな時間まで何やってたの！ 連絡もしないで！ 6時に帰るって約束したでしょう！」
- ②「お・か・え・り。おかしいわねえ、家の時計が壊れているのかしら。この時計では7時を過ぎてるけど…」
- ③「心配したわよ。6時って約束したんだから遅くなるときは連絡してね」

【子ども】「○○○○○……」

ワーク2 次の場面で、あなたならどう伝えますか。

【遊んだ道具を片づけずに外に遊びに行こうとしたとき】

Blank response box for the first scenario.

【宿題の工作がうまくいなくてイライラしているとき】

Blank response box for the second scenario.



ワーク3 今日の学習で感じたこと、気づいたことを書きましょう。

Large blank box for writing reflections.